

1. 件名：1／2号機 SGTS 配管の一部撤去作業に係る面談
2. 日時：令和5年3月28日（火） 13時30分～14時40分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
澁谷企画調査官、正岡企画調査官、松田室長補佐、横山係長、塩唐松係長
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当4名（テレビ会議システムによる出席）
5. 要旨
 - 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、現在中断している1/2号機 SGTS 配管の撤去作業の再開に向けた信頼度向上対策等について資料に基づき、以下の説明があった。
 - 作業再開に向けた信頼度向上対策の実績
 - ウレタン除去作業における傷病者の発生
 - リカバリー対策の被ばく線量対策
 - SGTS 配管撤去工程短縮案
 - 今後の SGTS 配管撤去再開に向けたスケジュール
 - ✓ 配管切断作業再開は、2023年4月上旬を目標としていること
 - 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、以下のコメントを伝えた。
 - 作業者の動線を確保するなど作業の安全を最優先で作業を進めること。
 - 配管切断後、切断部にダスト飛散防止カバーとして鉛遮へいを被せた上で、コントロール建屋屋上に仮置きする計画とのことだが、前回切断時に測定した際、配管内部のβ線の線量が高かったことから、鉛遮へいに内張りを施す等、制動放射の対策を検討すること。
 - 東京電力から、上記コメントについて了解した旨回答があった。
6. 資料
 - 福島第一原子力発電所 1号機及び2号機非常用ガス処理系配管の一部撤去について

以上